

保幼小中一貫教育だより ～豊かな自然と豊かな人材で豊かなこどもを育てる～



豊能の風

発行：豊能町教育委員会 第128号 R6. 11. 22

吉川小学校の英語の授業を見学!

～職場体験中の東能勢中学校の生徒が取材し、記事を書きました～

今年の夏、豊能町に来られた ALT の先生と英語担当の先生の授業を見学しました。今日は、お気に入りの場所と道案内を説明する授業でした。

最初に ALT の先生が英語の歌をギターで弾き語りし、児童達は真剣に聞いていました。次にぬいぐるみを動かして道案内をする場面では、児童達が互いに協力して取り組んでいました。先生の質問には自分で考えて積極的に発言していました。

次の課題はお気に入りの場所や、道案内を英語で書くことでした。習ったばかりで難しい課題ですがヒントを使って書くときに自分の力で書こうと挑戦したり、先生に聞いて理解しようとしていたりするのがわかりました。

英語の授業を見学して、児童の皆さんが楽しんで英語のゲームをしていたり真剣に話を聞いていたりして、楽しく学習することはとても大事なことで改めて思いました。



英語の歌を聴く児童



英語の発音練習

令和6年度 豊能地区栄養教諭等連絡会 豊能町で開催

毎年豊能地区（豊中・池田・箕面・豊能・能勢）の栄養教諭等が集まり、各地区での食育の取組みや給食の献立などについて交流する連絡会が開かれています。今年度は、豊能町での開催となり、豊能町が取組みを発表しました。

豊能町では「地場産物の活用」として、月に2回「とよのの日」を設定し農林商工課とも連携しながら給食を作っています。豊能町で栽培された米や野菜をおいしく食べることを通じて、豊能について知り、地域の方と連携しながら、食育にもつなげています。また、実際に豊能の特産物である「ヤーコン」を学校で栽培し、収穫したヤーコンが給食に使われることもあります。他にも小学校・中学校ともに児童・生徒のリクエストで給食やお弁当のメニューが決まることもあります。そのような、児童・生徒が主体的に食に関わっていく取組みが発表されました。



豊能町の栄養教諭による発表

とよのを知ろう とよのを学ぼう ⑦ 「キャリア教育」の実践

人権参観・講演会（東ときわ台小学校）

東ときわ台小学校では、毎年人権参観を行っています。人権学習を通して「キャリア教育」で育む力の一つ「みつける力」（自分の事を見つめたり、周りの人との関係を考えてたりする力）を養っています。

参観では、1年生は絵本「じぶんだけのいろ」を通して、性別に関係なく一人ひとりに好きなものや好きなことがあり、互いにそれらを認め合うことの大切さに気づく学習。2年生は、絵本「それってほんとにぞんねんかな？」を通して、失敗も見方を変えれば成功の礎になることに気づく学習。中学年は「子どもの権利条約」を基に、3年生は、自分の気持ちを伝えることの大切さと伝え方について考える学習。4年生は、子どもの権利について知り、自分の大切さについて考える学習。5年生は、「権利の熱気球」というワークを通して一人ひとり大事にしていることが違うことに気づく学習。6年生は、「インターネットと私」SNS との向き合い方を通して、情報モラルについて考える学習をしました。保護者の方からは、「とても大切な授業だった。」「改めて考えることが出来て良い機会でした。」という感想をいただきました。

講演会は、地域にお住まいで弁護士をされている方に、『いじりといじめ ～こんなとき、あなたならどうする？～』というテーマでお話をして頂きました。全校児童と保護者の方が一緒に講演を聞く機会を設けることができ、大人も子ども一緒に学ぶことができました。



豊能町町立ユーベルホールにて 合同芸術鑑賞会（音楽・能楽）開催 ～ 本物に触れる ～



10月31日、西地区3小学校の児童1～6年生約380名が集い、アンサンブルレネットさんによる「音楽会」が開かれました。学校の音楽室にある身近な楽器やお家にある調理器具を使った音の生演奏に手拍子を合わせ、会場はとても盛り上がりました。参加した児童は、「音楽はあまり得意でないけど、少し好きになりました。」と感想を話してくれました。

11月1日、町内4小学校の児童5・6年生約160名が集い、「能楽（能と狂言）」の鑑賞会が開かれ、豊能町在住の安東元さん（合同会社古語美）にご公演いただきました。昔の人が親しんだ演劇（古典芸能）は6年国語で学習しますが、教科書に掲載されている「狂言『柿山伏』」を生で鑑賞することができました。室町時代の文化に触れた子どもたちには、不思議に思うことがたくさんあったようです。質疑応答の時間には、たくさんの質問が出ました。

